



国会請願行動集会で訴える菱谷良一氏（103才）



「不屈」NO.600 付録
石川版 NO. 357
2024年6月15日
治安維持法犠牲者国家賠償
要求同盟石川県本部
〒920-0856
石川県金沢市昭和町 5-13
石川県平和と労働会館 2F
国民救援会石川県本部 気付
TEL・FAX 076-262-3447

国会請願行動(5月15日) 石川からの署名、558筆を託す

石川県本部副会長 日元久勝

国会請願行動集会

5月15日 治安維持法による弾圧で犠牲になった人たちに
対する国の謝罪と国家賠償を要求する署名を持ち寄り国
会請願行動が行われました。全国から150人が参加し、石
川県からは3年ぶりの参加となりました。

午前中は国会議員会館で集会が行われ、国会の委員会の合
間を縫って、共産党 宮本 岳志議員、立憲民主党 近藤昭
一議員から激励の挨拶を受け、山添 拓議員も激励にきてく
れました。

また、集会では北海道生活図画事件で検挙・起訴された菱
谷良一さん、103歳の今年も元気に北海道から参加し訴え
がなされました。

紹介議員要請行動

午後からはブロック単位で当該地域から選出された議員
に対し、請願の紹介議員となっていただくよう、議員控え室
を訪問。昨年は109人の紹介議員でしたが今年はその数を
上廻るよう紹介議員要請の行動を行いました。

北信越ブロックは、長野県が山積みの署名用紙をもって、
訪問議員も多く単独で行動。

新潟、福井、石川(富山は参加者なく署名だけ)、の参加

者は、議員6人(新潟5人、石川1人)立憲・近藤和也議員)の控え室を訪問し、紹介議員の要請を行った(福井は対象議員がおらず)。

自民、公明は党本部より紹介議員とならないよう通達がだされているという情報もあり、自民議員への訪問はしませんでした。当日は各種の委員会が開催されていて、在室する議員はいなく、秘書の対応で終わり、結果は後日に分かることになります。

ただ、昨年紹介議員だった新潟県関係の立憲議員秘書より、「今年は・・・」という消極的発言があり、護憲、革新共闘に対する連合などの分断策動に関係しているのではないかという思いをもちました。

石川の署名は558筆

石川から持参した署名は558筆で、目標の18.6%にとどまりました。

そうしたなかでも、新しく支部を立ち上げ、直後に震災にあつた奥能登支部の会員から署名が郵送されてきました。

目標達成への取り組みを今日から

来年の請願に向け、石川の目標3000筆を達成する取り組みを今日から行うべく、あらゆる場面に署名用紙を持ち込もうではありませんか。

また、この請願を実現するためには自公政権を政権の座から引きずり落とすことが必要であり、署名を訴えることがその具体的行動の一翼を担うということをお互い確認したいと思います。

鶴彬つつじ祭

- ・日時 2024年6月13日(木)
- ・予定 卯辰山玉兎丘 (午後1時半から2時)
献花、献句
千寿閣移動 (午後2時から3時)
治安維持法について
(国陪同盟 尾西洋子県会長)

参加費 500円



参事 尾西洋子(国陪)は1981年6月13日、治安維持法違反の不当判決を受け入獄しました。その上でのゆえに、皆様のご協力を得て、6月中旬に何卒償を償っています。

鶴彬つつじ祭実行委員会
事務局 090-9449-7564 tzy0315@nifty.jp
事務局 090-9448-1365

私たちの運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

1. 治安維持法体制の復活に反対する
2. 国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
3. 国は治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおこなうこと

国会請願署名(6/1~)

2024年5月31日現在
 個人署名 目標 3000筆
 到達 558筆
 団体署名 目標 12筆
 到達 0筆

会員数(5月31日現在)

217名(入1・退0)

谷口善太郎没後50年記念 第48回碑前祭・偲ぶ会・総会



谷口善太郎は1974年6月8日、6期目の衆議院議員任期の途中で亡くなりました(74才)。

2024年の今年は、没後50年を迎えました。出生地・能美市和気町の顕彰碑建立から48年。

毎年、命日の6月8日前に碑前祭・偲ぶ会が開催されてきました。

1987年(13回忌)、第11回碑前祭・偲ぶ会が開催され、「谷口善太郎を顕彰する石川の会」が結成されました。初代会長は梅田兵一氏。

没後50年の記念事業として「小説集」と「記念誌」が発行されました。

碑前祭

顕彰碑と文学碑がある、「谷善」の生家跡で午後1時30分から開催されました。「谷口善太郎を顕彰する石川の会」南口進市事務局長が司会を務め、尾西洋子会長が冒頭挨拶。

来賓の能美郷土史の会会長・山田省祖氏、文筆家・森松和風氏(文学者・森山啓の子息)がプロレタリア小説家「谷善」について語りました。能美市議会議員・北村周士氏、共産党県議・佐藤正幸氏が政治家「谷善」の足跡を讃えました。

また、京都からの参列者もあり、京都府立大学名誉教授の井口和起・和子夫妻が顕彰碑の案内板を書きたいきさつなどを紹介されました。

「石川の会」事務局次長・山内百合子さんが能美市長からのメッセージを紹介。ほかにも日本民主主義文学会会長、能美市教育長、日本共産党国会議員、谷口善太郎を語る会、鶴彬を顕彰する会からメッセージが寄せられたことが紹介されました。

黙祷のあと参列者全員が献花を行い、近藤啓子・能美市議が閉会挨拶、記念撮影し、午後2時30分終了。

偲ぶ会・総会

偲ぶ会は午後3時から、会場を辰口福祉会館交流ホールに移し、奈良井伸子さんの朗読、野村俊裕さんの太鼓演奏で「谷善」文学「土地はだれのものか」を1時間ほど鑑賞。

総会では活動経過と会計報告、24年度活動計画(朗読劇「綿」公演、映画製作等)や役員体制の提案を決定しました。

2024年5月17日

谷口善太郎を顕彰する石川の会 会長・尾西 洋子
〒923-1212 石川県能美市大口町イ7番地 南口進市気付
電話 090-8966-1109 FAX0761-51-6126
Eメール・dlbcjleb@tvk.ne.jp

谷口善太郎没後50年記念行事のご案内

新緑の季節となりました。谷口善太郎の命日(1974年6月8日、享年74歳)が近づきました。本年度で没後50年、文学碑を建立してから48年が経ちます。没後50年記念行事の案内をさせていただきます。



1. 没後50年記念、第48回谷口善太郎碑前祭・偲ぶ会・総会の案内

谷口善太郎は1974年6月8日、国会議員在職中に病気で亡くなり、3年後の6月8日に、谷口善太郎の功績を讃え、生家跡地に文学碑を建立しました。

谷口善太郎は、石川県能美市和気町に1899年9月18日、谷口家の次男として生れ、3反の小作農家で、貧苦の幼少時代、学校の先生の援助で和気尋常小学校高等科に進み、村の教師や青年が集まる読書会で古典や文芸に触れ、文学に目覚めます。20代前半で京都に行き、労働運動にかかわりました。1928年に治安維持法違反の容疑で検挙された後も、病魔と闘いながら筆名を使い分けて文筆活動を続け、自伝的小説「綿」を発表、高く評価され、地元を舞台にした「少年」、昭和9年の手取川大洪水を描いた「土地はだれのものか」等発表し、プロレタリア作家として花を開かせます。

戦後は政治家として、京都1区より衆議院議員に当選、6期15年4ヶ月間の議員活動をし、共産党の議員団長を務めました。能美市では3文豪の1人として、高く評価されています。

没後50年記念・「谷口善太郎碑前祭・偲ぶ会・総会」を開催致します。皆様におかれましてはご多忙と存じますが、ご出席をよろしくお願い致します。また、メッセージ等お寄せいただければ幸いです。

記

☆没後50年記念・第48回 谷口善太郎碑前祭

日時 2024年6月8日(土) 13時30分～14時30分

場所 谷口善太郎文学碑前(能美市和気町リ219)

☆偲ぶ会

日時 2024年6月8日(土) 15時00分～15時50分

会場 辰口福祉会館・交流ホール(能美市辰口町ヌ10 電話0761-51-4511)

偲ぶ会 朗読「土地はだれのものか」(内容は裏面に)

☆総会は偲ぶ会終了後に行います。

総会 16時00分～16時40分 1年間の活動報告 役員選出他

2. 没後50年記念公演 加賀歌二朗読劇「綿」

日時 2024年7月27日(土)・18時、7月28日(日)・11時・15時。

(開演30分前から入場できます。上演時間は1時間30分を予定しています)

会場 辰口図書館2階ホール。入場料は無料です。

上演台本・演出・奈良井伸子

主催：能美市の郷土文学を読む会。共催：谷口善太郎を顕彰する石川の会。

協賛：たんぼおはなし会。後援：能美市教育委員会(予定)。

お申込みは⇒



3. 没後50年記念誌出版の集い

日時 2024年7月28日(日)、12時～14時30分。

会場 辰口福祉会館 (能美市辰口町ヌ10 電話0761-51-4511)

内容 「谷口善太郎没後50年記念誌」出版の記念の集い。

記念の集い終了後、15時開演の朗読劇「綿」を鑑賞します。

以上